

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 21 年 6 月 17 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	多摩源流 小菅の湯におけるボイラーおよび吸収式冷温水発生機の電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0005
排出削減事業者名	財団法人 水と緑と大地の公社
排出削減共同実施事業者名	東京電力株式会社
事業実施場所	多摩源流 小菅の湯（山梨県北都留郡小菅村 3445）
事業の概要	既存の重油焚温水ボイラーおよび灯油焚吸収式冷温水発生機を高効率ヒートポンプに更新し、エネルギー効率を改善することでエネルギー消費量ならびに CO2 排出量の削減に加え、既存設備の燃料である重油・灯油の使用に対し、電気を動力源とするヒートポンプに切り替えることにより CO2 排出量の削減ができる。
排出削減量の計画	2008 年度 138tCO ₂ 、2009 年度以降 208tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 970tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始日 2008 年 8 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 8 月 1 日～2009 年 3 月 31 日（第 1 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	171tCO ₂ (2008年8月1日～2009年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1)承認排出削減事業計画に従いヒートポンプが導入されていること、および本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認した。 2)事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。 3)その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1)モニタリング方法については、承認事業計画に従って、ヒートポンプの電力使用量が実測されていることを確認した。 2)電力使用量の計測値の記録・保存については、その他関連事業者による計測値を自動的に記録・保存するシステムにより、日次データが記録・保存されており、本データが正確に集計されていることを、事業者への質問、日次データ変動の理由の検証、検算などにより確認した。 3)排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。 4)その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされて

	いないことを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	算定期間は 2009 年 3 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。

5. 特記事項

無し。

以上